

言いかえてみよう！慣用句プリント③

足・首・^{かた}肩・^{こし}腰の ことば ふつうの 言い方 ↔ ^{かんようく}慣用句

なまえ _____

ひづけ _____

上の れい この くらいの そうじは 朝飯前だ。 → この くらいの そうじは とても かんたんだ。

下の れい 弟は サッカーが 上手に なる ために、毎日 がんばって いる。 → 弟は サッカーの ^{うで}腕を ^{みが}磨いて いる。

1 ^{かん}慣用句を、ふつうの ^く言い方に 書きかえよう

れいの ように 書きかえます

(1) ぼくの ミスで、チームの 足を引っ張って しまった。

(2) けんかを した とき、先生は 妹の 肩を持った。

(3) なぞなぞの 答えを 聞いて、みんな 首をかしげた。

(4) あの お店の 人は 腰が低くて、感じが いい。

(5) 山道を 歩いて、足が棒になった。

2 足・首・^{かた}肩・^{こし}腰の どれかが 入る ^{かん}慣用句を 思い出して 書こう

箱は ありません

(6) ひさしぶりの 友だちからの 手紙を、今か今かと 待っ ている。

(7) 大きな ヘビが 出 きて、わたしは びっくりして すわりこんで しまった。

(8) さいごの 試合に まけて、チームの みんなは がっかりして 元気を なくした。

(9) 自由研究を 出し終えて、やる ことが なくなり、ほっと した。

(10) お花を 買う ために、わざわざ 遠くの 店まで 出かけた。

